

# 平成25年度病害虫発生予察特殊報第2号

平成25年6月18日  
愛 知 県

1 病害虫名：学名：*Aromia bungii*（カミキリムシ科） 和名：未定

2 発生作物：サクラ、ウメ

3 発生地域：海部地域

4 発生確認の経過

平成24年7月上旬、海部地域のサクラでカミキリムシ科の成虫が捕獲され、サクラの幹には虫孔（成虫の脱出孔）やフラス（幼虫の糞と木くず）が見られた。

この成虫は、植物防疫所により、国内未発生種の*Aromia bungii*と同定された。

初発見地点の周辺を調査したところ、平成24年12月までに15樹のサクラ、ウメからフラスの排出が確認された。被害は老樹や衰弱した樹に多く、根元付近にフラスの排出が多かった。

これまで、名古屋植物防疫所が主体となり、成虫を捕殺するとともに、フラスの排出を確認した場合は所有者の了解のもと、ノミなどで掘り取って幼虫を捕殺した。また、被害の著しいサクラ5樹を伐採・焼却した。

平成25年5月に同地域のサクラから、幼虫が活動を再開したことを示すフラスの排出が確認されている。

5 形態・生態及び被害状況

成虫の体長は28～37mm、光沢のある黒色。前胸は前縁と基部を除き明赤色。個体により前胸全体が完全に黒色となる。触角と脚部は暗青灰色。前胸背板には4つの小突起を備え、両側部の突起は側方に突出し目立つ。

中国、台湾、朝鮮半島、ベトナム北部などに分布しており、中国北部では1世代に2～3年かかるといわれている。幼虫は4月上中旬に摂食を開始し、5～6月に最も摂食活動が盛んになる。6月下旬頃に蛹化し、成虫は6月下旬から8月上旬に出現する。成虫は7月下旬から幹や樹皮の割れ目に産卵し、8～9日後に卵は孵化する。

海外の報告では、サクラ、カキ、ウメ、モモ、ザクロ、オリーブ、ヤナギ、コナラなど多くの樹種に寄生するとされている。

6 防除対策

現時点では本種に対する適用農薬はないため、成虫を発見したら捕殺する。また、フラス排出を確認した場合は、掘り取って幼虫を捕殺する。被害が著しく、衰弱した樹は、伐採・焼却処分する。

7 連絡先

本種と思われる成虫を捕獲した場合は、下記まで御連絡ください。

農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室

電話 0561-62-0085 内線471



図1 *Aromia bungii* 成虫



図2 *Aromia bungii* 幼虫



図3 フラスの排出



図4 伐採したサクラ内の食入痕